

議会モニターとの意見交換会

令和5年5月1日 午後6時30分～8時30分 役場会議室

議会活動、議会だよりに対する感想や意見をいただきました



議員も席替えした方がいいと思う。議会中に眠ることがないように緊張感をもっていただきたい。

おやまだ みちよ
小山田 美千代さん



一般質問を聞いてみて、もっと突っ込んだ質問をしてほしかった。いつも中途半端な気持ちで帰っていた。答弁する町側が、次の質問がされないよう上手く回答をして、次の議員がうまく質問ができない場合がある。もっと突っ込んだ質問をすれば、見る人が増えるのではないかと思う。

おがさわら えつこ
小笠原 悦子さん



一般質問は制限があるのか。全般的に質問が浅いような気がする。質問してはいけないことなど決まりがあるのか。再質問が浅い気がする。質問が浅いと町は動かないと思う。質問でしかまちを動かせないと思う。

すずき ひろし
鈴木 博さん



一般質問は、何を聞き出したいのかを明確にして長期にわたってするもの。一年間でするものの工程表を提示させて、検証しながらの議会運営であれば、もう少し、緊張感を持つことができると思った。

議員は住民の代弁者という立ち位置だと思うので、報酬が高いからやる低いからやらないのではなくて、地域の問題をどう攻略してどう皆に還元するかにある。それがどれだけ議員活動としての生きがいにつながっているかを若い人に伝達して、より多くの人が入ってくるような活動をやっていたらいいなと感じた。

やまぐち むつみ
山口 睦美さん



なぜ、この場に広報広聴委員会の委員しかいないのか。何回かそれについて意見を出している。この場で意見を交換し合うことと、後で意見を共有するのでは、熱量が全然違う。言葉で聞くのと後で文章を見るのでは、受け取り方が全く違う。私は、他の議員の意見を聞きたい。

ほうじょう みさと
北條 京さん



紫波町で一番やらないといけないことは、鳥獣被害防止ではないかと思う。城山の桜が満開になった時点で小熊が現れ、桜まつりが中止になった。そういうことがないように、対策を大々的にしてほしい。鹿角市の例のように、人を襲った場合どうするのか、被害が出る前にやらないと大変であることを言いたい。

たかはし よしみ
高橋 吉見さん

皆さんの意見を今後の活動に生かしてまいります





議員が依頼に伺った際は
ご協力をお願いします。

聞かせて まちの声

町内の方々に寄稿していただきました



紫波のひなまつり

紫波町には二つの重要文化財がある。そのうちの一つ、平井邸で「紫波のひなまつり」が行われた。コロナで中止になっていた催し物も動き始めた。

ボランティア観光案内をしている私たち「しゃべーる」も、久しぶりに平井邸での案内を行った。日詰の街は賑わいが戻ってきている。若い人達の頑張りと地元の人達の協力があるからだと思う。

紫波町にはたくさんさんの観光資源がある。それを生かした、紫波町をより多くの人たちに知ってもらうための仕組み作りが必要だと考える。

紫波町の観光について 思うこと



はたふく せいこ
旗福 晴子さん
(日詰地区)



疾走ロードレース 

先日テレビで、紫波総合高校自転車競技部の皆さんが、紫波中央駅前で、ヘルメット着用のキャンペーンを手伝っている様子が流れていました。

卒業後は、紫波町出身者で、プロの競輪競技で頑張っている人たちがいます。特に今年は、女子も厳しいプロの世界へ飛び込んで、さっそく活躍しています。

プロ野球の県出身者の活躍は有名ですが、紫波町出身のプロ選手も応援していきたいと思っています。

自転車のまち



たかはし すずえ
高橋 鈴江さん
(片寄地区)



命の源を守ります

農家に生まれ、代々引き継がれた水田の水の具合を見に行くたびに思うことがある。昔は水を引くに苦労したが、今は必要な時期に適度の用水が利用できる。

昨年まではあまり深く考えなかったが、縁あって土地改良区の業務に携わり、今まで以上に貴重な水だと感じる。ため池や川からの揚水など、多くの方々に見守られた用水。諸先輩方が実施してきた土地改良事業などを地域の皆さんや町と情報共有して、設備維持をしつつ、有効に活用したい。

用水を大事に



さくやま しげゆき
作山 茂幸さん
(彦部地区)





シリーズ みみよりの話 No.44

片寄の未来を 考える会



片寄小学校跡を活用しながら、どんな未来が描けるか、地元の声に耳を傾けて考え行動しているグループがあります。「片寄の未来を考える会」。昨年は片寄地区12自治公民館で意見交換会を開催。参加者117名のご意見は取りまとめ、熊谷町長に伝えていくとのことでした。

ご意見のトピック5つのうち、「地域の拠り所づくり」を具現化したのが「かたよせ田園マルシェ」です。昨年11月3日に開催。マルシェでは権現堂さんさ踊りも披露されました。旧小学校では、片寄さんさ踊りとして親しまれてきた伝統芸能です。来場した皆さんも多数参加して大いに盛り上がりました。参加した小学生の中には、習ってみたいという子もいて、その後保存会が練習会を開催。さんさ踊りをする西の杜小学校児童が少しずつ増えて、今年5月5日こどもの日には志和稲荷神社に踊りを奉納。片寄さんさ踊り復活となりました。

子どもたちの指導に当たった保存会各位に心より敬意を表します。

今回はさんさ踊りでしたが、中間支援の役割を果たしている「片寄の未来を考える会」の今後に期待し注目しているところです。

志和公民館長
佐藤 勇悦

表紙の写真

ヤッター!! 収穫が楽しみです



桜町北通りの農家組合では、子どもたちを対象にした農業体験を行いました。仲良し5人が、カボチャ、枝豆、サツマイモの苗を植えました。例年、収穫した野菜は各自持ち帰ったり、ミニ産直で販売したりしています。人気は焼きいもと聞きました。

この日は雨上がりで畑がぬかるみましたが、子どもたちの笑顔は晴れやかでした。

ペンをおいて

未曾有の世界的なコロナ禍は出口が見え始めました。行動制限もなくなり、コロナ禍以前の日常が戻りはじめ、イベントに集う人々の表情は喜びに溢れています。

委員は、町民の皆さまの身近な議会となるように「伝わる」「わ

かりやすい」紙面づくりを常に心掛けて、議論を重ねてまいります。

改選期を迎え、現委員での編集作業は最後となります。

4年間ありがとうございました。

阿部 美佳子



発行・編集責任者
議長 武田 平八

広報広聴常任委員会
委員長 細川 久
副委員長 阿部美佳子
委員 高橋 敬子
浅沼 有朋
北條 聡
阿部 秀一
佐々木純子

議会からお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



植物油インキを使用しています

